



# 見てしまったことと、見たかったこと

清山会医療福祉グループ  
 いずみの杜診療所  
 山崎英樹



田邊順一『老い—貧しき高齢化社会を生きる—』(平凡社, 1985)



## 開かれている病棟

- ...夏になってプールもにぎわった。集まってきた近所の子供たちと一緒に泳ぐ患者達の顔をみると、いかにもくっつくなげだ。それは<閉ざされている>顔ではなかった。...
- 夜は、看護室が患者の一番のたまり場となった。仕事のかたわら、看護者も患者達の雑談の仲間に加わって、看護者自身も結構楽しんでいるというふうである。冗談にどっと笑い声が湧いて、そこが看護室なのか談話室なのかわからなくなった。
- そんな様子を見てこの看護室は閉鎖病棟のそれと比べて何という違いだろう、と私は感慨深い。



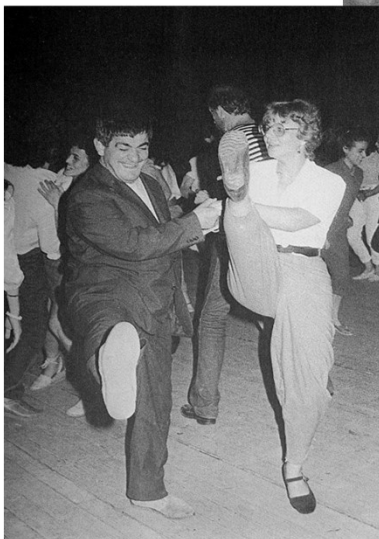
## 断酒会



# トリエステ



# トリエステ





10

2006年

### イラストで見る雑踏

繁治彦

コートも脱がず、バッグももってウロウロしていたご婦人。至る所に行きかけるのだが、そのためにスタッフがうまく誘導していたのが印象的

壁のかかってない空間

この人は周りの人々となる「フクロもあ」「あ」「あ」けられているのだ

この人は周りの人々に寄りこむメンバーの誘導をしているパートナーさん。これだけの人数となると、たいへんな作業だ

さあ、だれがスタッフで、だれが利用者で、だれが取材にきている人でしょうか？

いずれの社務室へ

雑踏は異動になる。メガネをして文庫本を読んでいる

マッサージは人気メニュー。マッサージ職員は4人もいますが、あつく寝もない忙し

マージャンもします。このときはなぜか3人。ワーカーが引き入れられることもある

絵の好きな利用者さんが描いた茶室画がなくさん

家庭より、雑踏の方が寛容である (三好春樹氏)





## 震災後の日報から



- 今、伝えたいこと。被災地で、高い電柱に登って電気工事を  
する人、がれきの中、郵便配達する人、スコップで地面を掘って  
水道管を修理する人。プライドにかけて自分の仕事をする。
- 今の私達を動かしているのは、そのプライドそのものなのかな  
と。
- 適切で冷静な判断が出来たかどうか、思い出せないのが正  
直な所ですが、役職として、とかそんなちっぽけなプライドで  
はなく、介護の仕事に就く者として、そして人としてのプライ  
ドは守りきったと思っています。

13

## 応援職員の公募アンケートから

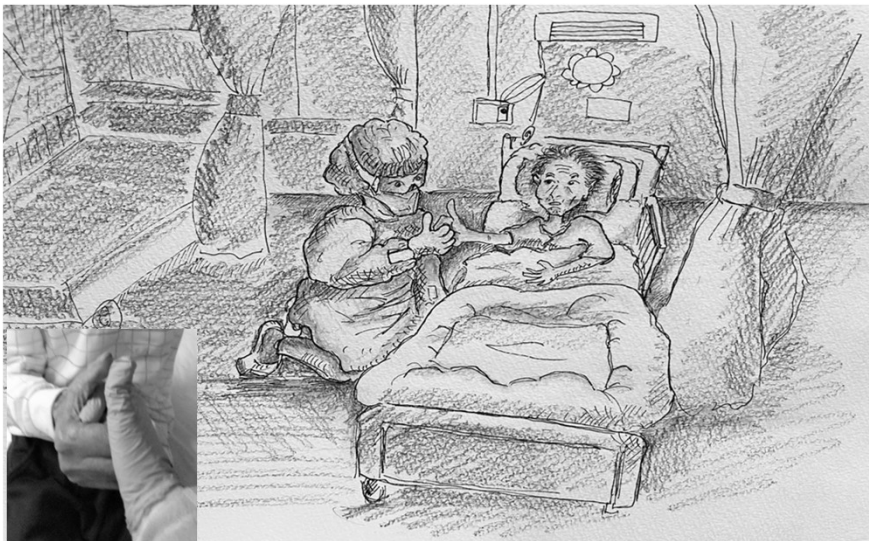


- 私がエントリーさせて頂いたのは、法人のためというより、自分  
のプライドがそうさせたのだと思います。この仕事を長年続けて  
きて、コロナ感染により介護崩壊など想像もしたことがない言葉  
が飛び交う現実を目の当たりにした時、このために続けてきた  
ように感じました。
- 法人の枠を越えた応援も、医療機関への応援も役に立てれば、  
誰かを救うことができばと思っています。仕事に対して様々な  
考えがあると思いますが、エントリーして下さった方は、きっとそ  
れに近い気持ちだと思います。

14



## ふれあいを大切にする介護の文化











## ピアサポート・経験専門家



## リカバリーカレッジ 2019年9月～



Co-production 協同創造  
Intentional Peer Support: IPS



Nothing about us, without us !



25



26



